

# 2018 年度

## 中国留学報告書

実習先：北京師範大学

実習期間：8月27日（月）～1月7日（月）

新潟国際情報大学  
国際文化学科  
学籍番号：21017099  
箱田果秀

## 目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

## 付録

	研修日誌	8
--	------	---

## 1 研修先及び実習期間

研修先：北京師範大学 漢語文化学院

研修期間：平成 30 年 8 月 27 日（月）～平成 31 年 1 月 6 日（日）

※帰国は 1 月 7 日（月）

## 2 留学先概要

### (1)大学について

北京師範大学は中華人民共和国の首都北京に位置する。北京は人口が 2018 年時点で 2154 万人に達し、中国だけでなく世界の経済に大きな影響を与える都市の 1 つである。北京師範大学は 1902 年の創設から百年以上の歴史を持つ。北京大学、清華大学、中国人民大学ともに北京四大大学の 1 つとして称される。教育の分野に非常に力を入れており、国家級（教育部直属）の六代師範大の中に含まれており、中国ではトップクラスの名門校である。毎年数多くの留学生を受け入れており、外国人留学生や研究者に対する中国語、中国文化の教育に長年にわたる経験と優れた実績がある。

### (2)大学で行われている教育について

北京師範大学の漢語文化学院では、多くの留学生を受け入れている。約四年間在学し学ぶ本科生と呼ばれる生徒と、半年から一年の短期留学をする研修生と呼ばれる生徒がいる。

一人の教師に対しクラスの人数は 20 人未満と少人数で行われるため、質の良いアットホームな雰囲気です。疑問があればその場で質問し、解決することも可能。初級者から上級者まで細かいクラス分けがされており、自分にあったレベルの授業を受けることができる。

## 3 研修目的

今回の研修の目的は、中国語での日常会話能力の向上、異文化体験、HSK のスコアを上げることである。普段大学で学んでいる週三回の中国語の授業と自主学習だけでは、中国語を専門として学んでいる他大学の生徒と圧倒的差異が生まれ、将来職についた時に発揮できる能力は得られないと感じた。現在、日本の企業で中国語を用いた職につくには、日本人だけでなく日本語を話せる中国人と競わなければならない。日本語を学ぶ中国人は少なくなく、加えて彼らの武器は初等教育から積み上げてきた高い英語能力だ。そこで中国語能力を向上させるために HSK 4 級（広範囲の話題について会話できる程度）の取得を目指した。HSK は中国政府教育部（日本の文部科学省に相当）が公認する資格であり、世界中で公的証明として活用することができ、日本国内の企業の採用条件、昇進や中国現地法人での勤務の条件として採用されている。

生の日常会話を学ぶため、日本語を勉強している中国人生徒と密に交流し、お互いの文化

を共有し合う中でより良い関係を構築する。これらを研修目的とし、今回の留学に臨んだ。

#### 4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

##### 4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
8	27 (月)		到着、入寮
	28 (火)	入学手続き	銀行で両替、口座登録
	29 (水)	銀行で口座登録	携帯電話購入
	30 (木)	クラス分け試験	
	31 (金)	留学生入学式	
9	2 (日)	クラス発表	
	3 (月)	授業開始	
	8 (土)	中日学生交流会	
	22 (土) ~24 (月)	中秋節 (休暇)	
10	1 (月) ~7 (日)	国慶節 (休暇)	
	11	1 (木) ~2 (金)	中間テスト
12 (月) ~18 (日)		研修旅行 江西省	
12	27 (木) ~28 (金)	期末テスト	
	1	4 (金)	卒業式
7 (月)		帰国	

##### 4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

###### i) 銀行で両替、口座登録

現在中国では現金でなく電子マネーでの金銭のやりとりが当たり前になっているため、中

国 SIM カードを購入する、または携帯電話を購入してその番号を銀行口座と直結させて支払う必要がある。そのため口座登録は必須である。また、日本円を銀行で人民元に変えて口座に入れることが可能であるため、日本円も持って行ったほうがいい。

#### ii) 新入生クラス分けテスト

生徒個人の中国語のレベルをはかり、その結果に基づいてクラスごとに分けられる。筆記試験と口頭試験の2つがある。

#### iii) 留学生入学式

今学期入学する留学生のための入学式が行われる。職員からの歓迎の言葉、新入生の挨拶、サークルの紹介、中国での生活の注意点などが案内される。学生のボランティアスタッフによる英語、韓国語の翻訳が同時になされる。

#### iv) 中日学生交流会

日本語学科の二年生が新潟国際情報大学生のために開いてくれる日中交流会。はじめにお互いに出し物を発表し、その後グループに分かれお菓子を食べながら交流する。中国人のランゲージパートナーを見つける絶好の機会であるため、前のめりで発言していく姿勢が大切。

#### v) 中秋節

中国ではこの祝日の期間、家族団欒の食事をし、月餅を食べながら月見をするという風俗習慣がある。そのため授業がなく、旅行に行ったり休息をとることができる。私たちは2泊3日の内モンゴル旅行に出かけ、雄大な自然に囲まれ素晴らしい時を過ごした。

#### vi) 国慶節

中華人民共和国の建国記念日で国際日である。一週間にわたる長期休暇であるため遠距離の旅行にも挑戦できる。

#### vii) 中間テスト

テスト科目は、リスニング、スピーキング、リーディングの3つがあり、リスニングとリーディングは筆記試験、スピーキングは筆記に加えて口頭試験もある。

#### viii) 研修旅行 江西省

漢語文化学院主催の一週間にわたる中国の伝統文化体験旅行である。毎年研修先は異なる。バスの号車ごとに班長とさらに細かく組みに分けられ組長が引率してくれるため安心して

文化体験ができる。

#### ix) 卒業式

クラスで最も優秀だと先生、生徒から認められたクラス代表 1 名と作文コンテストに応募し、賞を獲得した生徒、記念ビデオを作成した生徒に賞状と記念品が渡される。その他全員の生徒にも一学期の成績書と卒業証明書が渡される。先生とクラスメイトと会える機会はここで最後となる。

### 5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

#### i) 日常会話能力の向上

授業開始初日は自分の中国語能力が授業のレベル、他国出身の生徒のレベルに比べても低く、話すことはおろか聞き取ることも理解することもできなかった。それから毎日授業の予習復習を行い、わからない部分は先生やクラスメイト、中国人学生に質問したり、自分なりに調べることで少しずつではあるが授業についていけるようになった。帰国する頃にはクラスメイトと密なコミュニケーションが取れるようになり、冗談を言い合い、食事を共にし、お互いの夢や国について語り合うことができるまでに成長した。学校外でも中国語の勉強は大いにできることがわかった。食堂や屋台での店員との交流も日常会話を上達させるのに非常に勉強になった。一度では店員が何を言っているのかわからなくて当然と思い、何度も聞き返すことでたくさんの会話のパターンを理解できるようになった。

#### ii) 異文化体験

中国を訪れる外国人全員が初日からカルチャーショックの洗礼に会うことは間違いない。それは中国という国で生活していく中で自国での生活スタイルとの違いが明らかになっていくために生まれる差異なわけだが、異文化に触れることで自分が今まで生きてきた環境がいかに恵まれたものであるか、逆に息苦しいものであるかを体感する。中国人と生活すれば中国人の性格、気性、感覚を知ることができ中国の文化も教えてもらえる。また、クラスメイトは中国人ではなく地球上の様々な国から集まるため、個性豊かな生徒たちと交流することで中国以外の異文化にも触れることができる。これらの体験が人生をより豊かにしてくれることは否定できない。

#### iii) HSK のスコアを上げること

11 月に HSK 4 級を受験した。授業の復習を主とし、ウェブにある過去問などを利用して実際の試験問題にも取り組み、本番の試験に臨んだ。中間考査も HSK の試験日と近かったた

め両方の勉強に苦勞したが、無事合格することができた。

## 6 反省・課題

4ヶ月の留学は実際してみると物足りないほど一瞬で終わってしまった。これはこの4ヶ月の間に目標を持って毎日コツコツ勉強に励み、旅行や観光をする時には思い切り羽を伸ばして体験を楽しむという全てのことに対して全力で取り組めた成果だと言える。1つ反省点を挙げるならば留学前の事前準備を真剣に行っておくべきであったと悔やんでいる。まず私はネオマネーカードを作らず、人民元とわずかな日本円、クレジットカードを持って行った。ただのクレジットカードでは人民元を引き出すことはできない。またクレジットカードを使える店は限られており普段使えないことに現地に行ってから知った。そのため日本にいる家族に送金してもらい高い手数料と手間と心配をかけた。二度とこのような失敗をしないために何事にも事前準備には念を入れたい。

また、私は留学延長を決断し、来学期も引き続き北京師範大学で学ぶが現地にいるからといって怠けることなく、今回の留学で学んだ日々積み重ねるといふことの大切さを忘れず、現地でしかできないことを意欲的に体験していきたい。

## 謝辞

今回、北京師範大学にて懇切丁寧な指導をしてくださった多くの先生、黄微さん、現地で日本人を細かくお世話して下さった日本人会の皆様、様々な場所を案内して下さった日本語学科の皆様、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の2018年度前期の授業、現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、區建英先生、佐藤若菜先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、中国留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

## 付録：研修日誌

8月27日 月曜日 午前
出発 新潟空港
内容

- ・新潟空港集合、區先生と合流
- ・新潟空港から成田空港まで飛行機で移動
- ・成田空港から北京首都空港まで飛行機で移動
- ・入国審査
- ・黄さんと会う
- ・北京師範大学までバスで移動

### 移動の所感

日本から北京までわずか3時間と言うがそれは成田から北京までの話であって新潟空港から乗り継ぎ、1日かけての移動は疲れるものであった。今日はゆっくり休んで明日から始まる授業や様々な活動に備えたい。

8月28日 火曜日
午前 入学手続き 午後 銀行
内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学手続き</li> <li>・銀行で口座登録、両替</li> </ul>

### 内容及び所感

朝から一日つきっきりで黄さんに連れられ入学手続き、銀行で口座登録、両替を行った。銀行での滞在時間は約8時間。口座登録は慎重に行われるため一人一人にとっても時間がかかった。

8月29日 水曜日
午前 銀行 午後 携帯電話購入
内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前は昨日に引き続き銀行にて口座登録</li> <li>・午後は携帯電話購入</li> </ul>

### 内容及び所感

午後から近くのショッピングモール内にある携帯ショップにて携帯電話と一年間有効のSIMカードを購入。黄さんが店員と同じ故郷出身ということで少しおまけしてくれた。



8月30日 木曜日
クラス分け試験
内容 ・クラス分け試験

#### クラス分けテスト内容及び所感

クラス分け試験は筆記と口頭試験があった。口頭試験は緊張したが担当教師が優しくリラックスして試験を受けることができた。

8月31日 金曜日
留学生入学式
内容 ・生活の注意 ・学校紹介 ・サークル、ボランティア団体の紹介

#### 内容および所感

入学式は全員スーツで臨んだ。多くの新生が参加しており、教授陣から暖かい歓迎の言葉もらった。中国語の方はほとんど聞き取れず、ボランティアの学生による英語での翻訳で少し話している内容が理解できた。

9月2日 日曜日
クラス発表
内容 ・クラス発表

#### 内容および所感

掲示板に貼られた結果を見て自分がどのクラスに所属するのかを確認し、時間割を確認した。101-3班だった。私の他に3人の国情生がいた。

9月3日 月曜日
授業開始
内容 ・授業開始 ・自己紹介

・ 听力, 会话, 读写

### 内容および所感

クラス内には、韓国人、インドネシア人、イタリア人、アイルランド人、ブルガリア人、イエメン人、アメリカ人がいた。授業は先生の挨拶、生徒の自己紹介、授業方針、テスト日程などの連絡事項、授業の進め方、予習復習の仕方の説明を受けて 1 日目が終わった。あまり聞き取れず、自分の発表も自信が持てなかった。

9月8日 土曜日
中日学生交流会
内容 ・ 初めの挨拶 ・ 自己紹介 ・ 出し物披露 ・ グループ分け ・ グループ内で会話 ・ 終わりの挨拶

### 内容および所感

日本語学科の二年生と新潟国際情報大学留学生だけの交流会が行われた。中国人生徒の日本語能力はとても高く、早速仲良くなった学生と wechat を交換し、遊びに行く、一緒に勉強をする約束をした。

9月22、23、24日
中秋節 内モンゴル旅行
内容 ・ 1日目 乗馬、キャンプファイヤー ・ 2日目 ラクダに乗る、砂漠での様々なアトラクション体験 ・ 3日目 博物館見学

### 内容および所感

二泊三日の打つモンゴルツアーに参加。日本語が話せるガイドさん付きのバスでの旅だった。移動が長く少し疲れたが内モンゴルの大自然と文化を堪能し、留学期間で最も印象深い時間を過ごすことができた。

11月1、2日
中間テスト
内容 ・ 中間テスト

#### 内容および所感

難易度はそう高くはないが日々の授業での要点を理解できているか見られるテストだった。きちんと復習していれば高得点が狙える。

11月12～18日
研修旅行 江西省
内容 ・ 研修旅行 江西省

#### 内容および所感

漢語文化学院主催の一週間にわたる江西省の旅。北京から江西省までは寝台列車で移動、到着した後はバスでの移動だった。中国が誇る伝統工芸品である陶器の博物館で歴史を学び、陶器村で実際に職人が製作しているところを観察した。また現地の芸術大学では実際に陶器の製作体験も行った。三清山にも半日かけて登り、進んでも進んでも終わりが見えなくて疲労困憊だったが帰りのロープウェイが見えた時には達成感に溢れていた。最終日には中国でもっと美しいと言われる村を訪れた。南の地方ならではの瓦屋根と昔の暮らしを彷彿させる道具などが置いてあった。

12月27、28日
期末テスト
内容 ・ 期末テスト

#### 内容および所感

期末テストの方法、実施場所など中間試験の時とほとんど変わっていない。最後のテストなのでしっかり勉強して臨んだ。

1月4日 金曜日 午後
卒業式
内容 ・卒業式

### 内容および所感

授業も全て終了し卒業式。会場では教授たちの話、記念ビデオ鑑賞、優秀生徒の表彰、成績書と記念の冊子や証明書をもらいクラスメイトたちと最後の挨拶をし、会場を後にした。

### 内モンゴル



### 天安門



万里の長城



江西省



江西省

